



令和4年
4月

さいたま市立木崎小学校 学校だより

きざき

令和4年4月8日(金)

TEL048-831-2281

<http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp

オンリーワンに気付く

校長 石川 顕一



▲校庭の桜

桜もいつしか盛りを過ぎ、散り際の美しさを見せるようになりました。入学式の記念に撮ったスナップ写真には花吹雪が舞っていることでしょうか。お子様の進級・入学おめでとうございます。

この度、歴史ある木崎小学校に着任いたしました石川顕一と申します。何卒よろしく願います。

さて、先の東京や北京で行われたオリンピック・パラリンピックでは、日本人アスリートが大活躍し、多くの人がテレビに釘付けになったことでしょう。スポーツ観戦が趣味である私もその一人です。

報道が、メダルを獲得した選手、好成績を上げた選手を取り上げる一方で、その陰で思うような結果を残せず悔しい思いをしている選手が数多くいるのが現実です。このことは、スポーツの世界に限らず、勉強や仕事でも同様です。日常生活や趣味にまで適用できるのかもしれませんが、金メダルやナンバーワンを目指して取り組みますが、やはり多くは期待どおりの結果を収められず悔しい思いをします。

このナンバーワンに対して、オンリーワンになることに価値があると考える人もいます。言うに及ばず、誰もが唯一無二の存在であり、いるだけで価値があります。このオンリーワンは、競争社会の中で生きる私たちに夢や勇気を与えてくれます。しかし、「一番にならなくてもいい」「自分は特別な存在だ」と現実から逃避するための口実ともなります。

私は、「ナンバーワンを目指して自分を磨く中で、オンリーワンに気付く」ものであり、ナンバーワンは目的ではなく手段だと考えています。ナンバーワンへの過程の中で経験した自分自身こそがオンリーワンなのです。ナンバーワンを目指してどれだけ力を出し切り、どのような失敗を経験したかが、その人の個性や自分らしさを決めるのです。

令和4年度の木崎小学校では、子どもたちに、日々自分にできる精一杯の努力をすることを求めています。ご家族や地域の方々にもお力添えをいただき、未来を生きる子どもたちに、ナンバーワンを目指す中でオンリーワンに気付かせたいのです。

新型コロナウイルス感染症は依然として予断の許さない状況が続いています。引き続き感染予防に努めてまいりますので、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。